

## 書籍「地域金融機関の有価証券運用【第2版】」を発刊しました

一般財団法人金融財政事情研究会より書籍「地域金融機関の有価証券運用【第2版】」を発刊いたしました。

本書は、地域金融機関の経営における有価証券運用業務の位置づけを捉え直し、ミドルオフィスを含めた体制整備のあり方、人財育成のあり方、外部運用業者の活用方法などを提言、金融危機を受けて発展を遂げた最先端の運用手法、リスク管理手法をわかりやすく紹介した、地域金融機関の経営と有価証券運用業務に携わる者にとって必読のハンドブックです。

第2版の発刊にあたり、市場環境を振り返りつつ旧版で紹介した運用手法・予兆指標の有効性を検証するとともに、新たにバーゼルⅢ最終化への対応、暗号資産の概要、経営によるリスクガバナンス高度化に必要な新たなツール「ANAMダッシュボード®」などについて解説する章を追加しました。



### オールニッポン・アセットマネジメント株式会社

## 本書「はじめに」より

有価証券運用は、地域金融機関にとっていまや貸出と並ぶ重要な業務である。国内の長期にわたる低金利で、だれもが海外資産に運用の場を求めなければならぬ状況が日常化している。運用担当者やリスク管理担当者はもちろんのこと、経営企画の人でも海外市場や海外資産の知識が必要とされる時代になった。銀行経営者も、運用に関して期待リターンや資産価格の変動リスクについて一定の見識をもたないと、銀行の持続可能な業務として有価証券運用業務を位置づけることは困難となる。

「多資産運用戦略」(マルチアセット戦略ないしバランス型運用とも呼ばれる)は読んで字のごとく国内外の債券や株式を一体として運用する手法である。リーマンショック以降運用の世界で幅広く知られる運用手法になってきたものの、その実務を解説した教本の類は日本ではほとんど見かけない。地域銀行とすれば、多資産運用戦略を行う運用会社に運用委託して、その結果をモニタリングしていればよいということになるかもしれない。しかし地域金融機関の有価証券ポートフォリオをみると、円債に加えて米国債や欧州債などの外国債券、内外株の先物やETF、あるいはREITというようにすでに多資産で構成されるようになっている。したがってこれらの多資産をどのように管理運営していけばよいのか、もう少し仔細にいうならば、そもそもどのような資産選択をし、どれほどの収益期待をもち、どこまでリスクを許容してポートフォリオ全体を運用したらよいのが業務の鍵となる。運用を旅客機の運航にたとえるなら、目的地(パーパス)とそこに至る航路を決める必要がある。当然気象状況によりパイロットは航路や高度の変更を余儀なくされることもあるが、同様に運用も市場環境の変化を見据えてポートフォリオの中身を増やしたり減らしたり、あるいは資産を入れ替える必要が出てくる。

ということは、地域銀行にとって多資産運用に伴うポートフォリオ構築の枠組みとともに、リスクをリアルタイムでモニタリングする枠組みも必要になってくる。しっかりしたリスク管理体制のないなかでグローバル運用を行っていくことは危険だ。運用担当者はもちろんリスク管理担当者も、とっているリスクが銀行にとって許容できるものなのか、収益性はどうかをモニタリングできる実務的な枠組みをもたなければならない。

そして銀行経営者は保有する有価証券ポートフォリオが収益性とリスクの観点から妥当であるかどうかを常に検証する必要がある。なぜなら有価証券業務の最終判断を下すのは銀行経営者だからだ。

本書は地域金融機関の運用の実務、あるいはリスク管理の実務に携わる人から、経営企画や運用担当役員、あるいは銀行経営者に至るまで幅広く読んでいただけるように意識して書かれた本である。各章で内容がおおむね完結しているので、とり急ぎ多資産運用の実務だけ読みたい、あるいはリスク管理だけ読みたい、という方にも最適な構成となっている。また経営層の方には、第1章、第4章、第6章、第7章の末尾に掲載している「経営からみる地域銀行の有価証券運用の高度化」や、有価証券運用のガバナンスという点からANAMダッシュボード®の章を優先する、というような読み方もしていただけるものと考えている。

今般、第2版の発行にあたり初版以降のマーケットの環境変化に伴い内容をアップデートしたほか、リスク管理手法の発展に伴い「リスクガバナンスとリスクアペタイトフレームワーク」を「リスク管理ツール／ANAMダッシュボード®」に書き直すとともに、バーゼル規制やデジタル／暗号資産等に関する新たな解説を追加した。

弊社は地域金融機関の運用の多様化、高度化とそれに呼応したリスク管理の精緻化を力強くサポートし、地域金融機関とともに歩み成長していくことを目指している。その一環として本書が地域金融機関のさらなる発展の一助となれば幸いである。

オールニッポン・アセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長 永野 竜樹